

# 社会的養育を 支える関係機関



# ①児童養護施設

保護者のない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行う施設

- ・安全基地としての機能(対象:概ね2才から18才未満の児童、措置延長制度あり)
- ・重層的な専門チームによる支援が可能
- ・心理士、保育士、看護師、栄養士等の専門職が連携し子どもの育ちをサポート。

里親関連では里親支援専門相談員(里専)を中心に、里親支援センターとの連携にて、里親制度の啓発活動や里親家族の支援を実施。

より専門的、かつ、小規模で細やかなケアができることを目指す  
高機能化 縦軸 卒園後、退所後の幸せを目指した  
多機能化 横軸 全ての子どもたちの成長へ

単に生活の場ではなく、子ども達の安心、成長、自立を総合的に支える拠点

### ③母子生活支援施設

18歳未満の子どもを養育している**母子家庭**、または何らかの事情で離婚の届出ができないなど、母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設

母子生活支援施設は母親と一緒に入所。**母親**が主に子どもの養育を行う  
施設職員は**あくまでもサポート役**

日勤だけでなく宿直も行うところもある

※児童養護施設 = 母子分離とは異なる

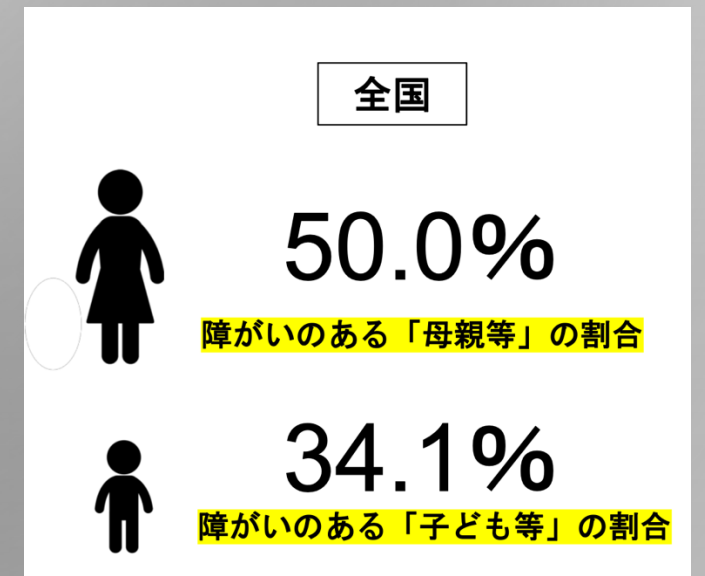
全国に197施設 → 熊本県内2施設

はばたきホーム (熊本県内の評価結果情報)

きらきら星レジデンス (熊本県内の新規施設情報)

DVが60%を超える

母子双方の支援を通じて一緒に支えることができる  
地域や学校から離されても、**母親から離れなくていい**



障がいのある割合が増えている

## ⑤児童心理支援施設 **こどもL.E.Cセンター**

比較的短期間（平均在所期間2.2年）で治療し、家庭や、里親・児童養護施設と共に支えつないでいく役割。また、**通所部門**を持ち、**在宅通所**での心理治療等の機能を持つ

全国に51箇所、県内に**1か所のみ**

精神年齢は0～3才くらいまでの子がほとんど

入所期間が長期化するケースが増えてきている

社会で適応するための土台を整えるための施設（7才程度）

敷地内に小学校、中学校の**分校**を持っている

### ①総合環境療法

施設内で行っている全ての活動が治療であるという考え方・立場のこと  
日課やルールを重要視している！（厳しく見えるが非常に重要）

### ②他職種連携

医師の毎月の面談があるほか、看護師も複数在籍

## ⑥障がい児入所施設

### ① 福祉型障害児入所施設

保護並びに日常生活における基本的な動作及び独立自活に必要な知識技能の習得のための支援  
熊本県内に 8 施設 定員 249 人

### ② 医療型障害児入所施設

保護、日常生活における基本的な動作及び独立自活に必要な知識技能の習得のための支援、治療  
熊本県内に 4 施設 定員 546 人

発達、精神、知的、地域の支援 → 以前はそれぞれに分かれていた

入所経路については、**児童相談所**一時保護所、**児童養護施設**、**乳児院**からの順

措置入所と契約入所がある

## ⑥障がい児入所施設

天草学園	天草市本町下河内680	社会福祉法人啓明会	平成30年10月1日	4353000013	福祉型障害児入所施設	35	知的障害児
若草児童学園	菊池郡大津町大津214-1	社会福祉法人白川園	令和4年4月1日	4352200234	福祉型障害児入所施設	40	知的障害児
サポートセンター第一悠愛	阿蘇郡小国町宮原2617番地	社会福祉法人小国町社会福祉協議会	平成30年4月1日	4351300019	福祉型障害児入所施設	30	知的障害児
陽光学園	玉名郡南関町上坂下790	社会福祉法人臼間会	平成30年10月1日	4351100013	福祉型障害児入所施設	20	知的障害児
くまもと芦北療育医療センター	葦北郡芦北町芦北2813	社会福祉法人志友会	平成30年10月1日	4351900016	医療型障害児入所施設	200	
はまゆう療育園	天草郡苓北町志岐1215	社会福祉法人慈永会	平成30年10月1日	4352100012	医療型障害児入所施設	170	
熊本県こども総合療育センター	宇城市松橋町豊福2900	熊本県	平成30年10月1日	4352700019	医療型障害児入所施設	60	
多良木学園	球磨郡多良木町黒肥地6525-38	社会福祉法人つつじヶ丘学園	令和2年4月1日	4351800018	福祉型障害児入所施設	20	知的障害児

## ⑦児童家庭支援センター(児家セン)

児童相談機能をサテライト的に設けるべきではないか？→の声から誕生  
地域の子どもと家庭が抱える様々な相談に応じ、専門的な助言や支援を行う。  
児童相談所を補完する役割を持ち、児童福祉施設等に併設されていることが  
多く地域に根差した専門性の高い相談窓口  
NPOでも一社でもいい 熊本は特定NPOと社福

リスクの高いケースをしっかりと受けていく  
児童相談所(県)、基礎自治体(市町村)のあいだのような存在

職員は相談員3名程度が平均 母体があることから職員が変わらず安定しやすい

個人情報踏まえた上で、生活支援(環境調整)と心理支援ができる  
県、自治体の補助金で運営しているため、無料で支援を受けられる！